



いわみ

No.144

令和2年7月31日発行

議会だより

スパイク決める
緊張の一瞬

6月定例会

- 2 1人1台タブレット端末整備 小・中学校の児童生徒へ
- 5 7議員が町政を^{ただ}質す
- 13 岩美中部活にエール みんなでコロナを乗り越えよう!!

1人1台タブレット端末整備

小・中学校の児童生徒へ

6月定例会

6月定例会は、6月10日から12日まで、3日間の会期で開きました。小・中学校の児童生徒に一人当たり1台の学習用タブレット端末の整備費を含む一般会計補正予算のほか、国民健康保険特別会計補正予算などすべての議案を、全員一致で原案通り可決しました。



タブレット端末を活用して学習する児童たち(岩美北小学校)

主な議案の概要と質疑

※ 質疑応答は、常任委員会と全員協議会を含みます。

一般会計補正予算

1億1043万円を増額して、予算総額を77億7393万円としました。

歳出の主なもの

小・中学校ICT環境整備事業費 3676万円

国の方針により小・中学校の児童生徒3人に1台整備してきた学習用タブレット端末を、学校ICT整備費の国庫補助が措置されたことに伴い、1人に1台整備する。

問 市町村の子どもたちは当然都道府県の子もだ。県も補助すべきだ。
答 県の制度はない。

町道新設改良事業費

4531万円増額

補修が必要な橋りょうの調査設計業務や町道への落石防止工事等の追加。

コミュニティ助成事業費

210万円

岩美駅前自治会の除雪機2台の購入に対する補助。

沖合底びき網漁業生産体制存続事業費

219万円増額

漁業の生産性向上等を目的として漁船への漁業用機器整備に対する補助。

農業者大型特殊免許取得支援事業費

112万円

法改正により、大型特殊免許で一定の条件を超えるトラクターの公道走行が可能となり、集落営農組織と認定農業者への営農支援として、大型特殊免許の取得費用を補助。

問 県内で1000人程度受講者がいる。免許センターも週1回20人と限定されている状態だ。県の公安委員会、知事に各町村長が連携して、回数拡大の陳情を行わないか。

答 実態を確認し、必要であれば取り組みたい。

人事

農業委員会委員の任命に同意しました。任期は、7月20日から3年間で。 (敬称略)

藪内 孝博(高山)
上根 慶万(牧谷)
北村 凱男(宇治)
上田 陽一(岩常)
岸本 利博(岩井)
米村 進司(浦富)
山本 一美(白地)
寺尾 孝則(大谷)
飯野 幸義(黒谷)
濱崎 智熙(牧谷)
山本 淳(銀山)
福石 幸生(新井)
大森 正良(馬場)
賀山 圭子(白地)

請願等の審査結果

件名	結果	賛否の状況
女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出を求める請願 提出者：新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子 紹介議員：田中克美議員	趣旨採択*	採 択 杉村 宏、田中克美 不採択 橋本 恒、森田洋子、吉田保雄、寺垣智章、柳 正敏
地方財政の充実・強化を求める陳情 提出者：自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 外1名	採 択 (意見書提出)	全員一致
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情書 提出者：鳥取県教職員組合東部支部 支部長 橋本 智洋 外1名	趣旨採択*	採 択 杉村 宏、田中克美 不採択 橋本 恒、柳 正敏

*趣旨採択という委員会審査結果に異議があったため、初めに採択に賛成の者を諮り、過半数に達しなかった。次に、あらためて趣旨採択に賛成の者を諮り、初めに採択に賛成した者も趣旨採択に賛成し、趣旨採択に賛成の者が過半数に達した。

不採択となった請願・陳情の不採択理由

件名	賛否の状況	不採択の理由（常任委員会）
日本軍「慰安婦」問題の真の解決を求める請願 提出者：新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子 紹介議員：田中 克美 議員	採択 杉村 宏 田中克美	日韓両国における従軍慰安婦問題は既に解決している。
選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める意見書提出を求める請願 提出者：新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子 紹介議員：田中 克美 議員	採択 杉村 宏 田中克美	伝統のあるわが国の結婚や家族の在り方に関わるものであり、再婚禁止期間の廃止は、のちに家族関係に混乱を生じるおそれがある。
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出を求める陳情書 提出者：鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	採択 杉村 宏 田中克美	物価や経済状況が地域によって異なる中で、最低賃金を全国一律に改正することは現実的ではなく、1500円に上げることは、中小・零細事業者から雇用を失うおそれがある。
「合特法」に基づく「代替業務」の陳情について 提出者：協同組合岩美町環境事業公社 理事長 田中 清一 外2名	全員一致	いずれの陳情者も一般廃棄物収集運搬業の許可を受けていない者であり、合特法が規定する業者に該当しない。
「合理化事業計画」の策定についての陳情書 提出者：協同組合岩美町環境事業公社 理事長 田中 清一 外2名	全員一致	上記で述べた理由に加えて、町は、尿尿収集を安定的に行うための計画である一般廃棄物処理計画を毎年策定しており、廃棄物処理行政を円滑に実施している。

討 論

日本軍「慰安婦」問題の真の解決を求める請願
(不採択)

採択 (田中克美議員)

自国の歴史に真摯に向き合うことが人権の世紀にふさわしい態度だ。

不採択 (升井祐子議員)

日本政府は、慰安婦本人や遺族に対する補償金を払っている。

採択 (杉村 宏議員)

人権侵害を受けた方の立場に立つべきだ。

不採択 (柳 正敏議員)

日韓は、慰安婦問題が最終的不可逆的に解決されたことを確認済みだ。

女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出を求める請願
(趣旨採択)

採択 (田中克美議員)

最高裁で救済されない個人が国連の女性差別撤廃委員会に訴えるには、

議定書の批准が必要だ。

趣旨採択 (升井祐子議員)

女性と男性はそれぞれ特質が異なり、それを人権問題にすり替えてはいけない。

採択 (杉村 宏議員)

議定書を批准できない状況そのものが、差別の実態があることの証左である。

採択 (田中克美議員)

新聞世論調査で69%、政府の調査でも、結婚ピークの30代の84%が選択的夫婦別姓に賛成だ。

不採択 (升井祐子議員)

今でも別姓にする方法はある。また、再婚禁止期間の設定は、差別ではなく必要な措置だ。

採択 (杉村 宏議員)

夫婦同姓の強制は、実質的女性差別の一つの表れだ。

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書
(不採択)

採択 (田中克美議員)

低賃金労働者がコロナで困難に陥っており、引き上げを実施すべき。

不採択 (升井祐子議員)

多くの会社が1500円では雇えず、失業者が多くなる。

採択 (杉村 宏議員)

現在の最低賃金では、労働力の再生産は図れない。

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情書
(趣旨採択)

採択 (田中克美議員)

コロナ禍で教員数を増やし、最大20人程度の少人数学級とすべきだ。

採択 (杉村 宏議員)

財政力の違いから自治体間の教育格差が生じており、元に戻すべきだ。

5月29日臨時会

新型コロナウイルスに係る予算等

新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、各種対策に係る条例改正・補正予算を承認・可決しました。

注 質疑応答は、常任委員会と全員協議会を含みます。

対策全般に係る質疑

問 町独自の対策は考えていないか。

答 国も二次補正を想定している。町内の状況も見ながら対応していく。

給付金付特別奨学金事業費（専決処分）

1000万円

減収となった町出身の大学生等に10万円の奨学金を無利子貸付し、うち5万円は返済不要とする。

問 周知漏れがないように働き掛けているか。

答 防災無線、ホームページ、広報紙で周知する

予定。家族にも本人へ連絡を取ってもらい、郵送申請につなげたい。

防災対策費（専決処分）

324万円増額

災害時に避難者や係員が使用する使い捨てマスクや消毒液を備蓄する。

問 大人用マスクでは、子どもはぶかぶかで使えない。

答 5万枚のうち1万枚を子ども用のマスクと考えているが、子ども用の納入業者が見当たらない。

問 指定避難所以外の避難場所にマスクを届ける考えはあるか。

答 密を避けるために避難所を増やす可能性がある。柔軟に対応する。

バス車両除菌対策事業

138万円

町営バスとスクールバスでの感染防止に、オゾン発生装置2台を購入。

問 町営バスでの対策は、

答 車内の消毒、運転席の防護、乗客用手指消毒液の設置など。

プレミアム商品券発行事業費

2210万円

町内事業者支援を目的に、20%のプレミアム商品券を総額1億2千万円分発行し、消費喚起する。

問 購入希望が多い場合の対応は考えているか。

答 検討する。

経営持続化支援給付金事業

2500万円

国の持続化給付金を限度額の50%以上受給した事業者に、更に町が10万円を給付する。

問 国の持続化給付金は、同前年比で50%以上減収が条件だ。一部の県内自治体のように、減収50%に満たない事業者に対する支援を行わないか。

答 国の2次補正で臨時交付金の増額が見込まれ、様子を見たい。

国民健康保険税条例の一部改正

税率及び課税額から減額する額を決定しました。

反対討論（田中克美議員）

コロナ禍を乗り切るため、繰入金金を800万円追加して一人当たりの税額を据え置くべきだ。



プレミアム商品券を購入する町民

5月臨時会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、承認等した議案】

議案
放課後児童クラブ手数料の徴収に関する条例の一部改正（専決処分）
国民健康保険条例の一部改正（専決処分）
後期高齢者医療に関する条例の一部改正（専決処分）
税条例の一部改正（専決処分）
国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）
介護保険条例の一部改正（専決処分）
特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（議員発議）

議案
元年度予算
元年度一般会計補正予算（専決処分）
元年度住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（専決処分）
条例
税条例等の一部改正（専決処分）
国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）
2年度予算
2年度一般会計補正予算（専決処分）
2年度国民健康保険特別会計補正予算（専決処分）
2年度一般会計補正予算
2年度病院事業会計補正予算

【賛否が分かれた議案】

提出者	議案	審議結果	賛否の状況
町長	国民健康保険税条例の一部改正	可決	反対：田中克美議員

一般質問

7議員が^{ただ}町政を質す

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

6月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項（通告書のまま）
澤 治樹	6	1 岩美町の空き家対策について 2 有害鳥獣対策について
橋本 恒	7	1 コロナウイルス感染症感染拡大による教育現場の影響について 2 今後の小学校の在り方について 3 令和4年度以降の成人式について
森田洋子	8	1 新型コロナウイルスによる今後の感染防止対策について 2 バス路線による買い物便の在り方について
吉田保雄	9	1 小・中学校教育に於けるオンライン授業等への取り組みについて 2 ふるさと納税と町内活性化について
杉村 宏	10	1 コロナ財源は所得再配分で 2 快速便は補助路線から外すべき 3 「町政の見える化」の推進を 4 税条例改正の理由は
升井祐子	11	1 真実に基づいた正しい教科書の採択を 2 日韓暫定水域の監視取締り体制強化の提言を 3 漂流、漂着ごみからジオパークを守って
田中克美	12	1 新型コロナウイルス感染拡大と医療、岩美病院について 2 新型コロナウイルス危機のもとでの学校教育について 3 町の新型コロナウイルス対策の今後について

議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧いただけます。会議録は、9月ごろから議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。

空き屋調査を実施せよ

澤 治樹議員

3年度に実施する

西垣町長

き、民間による店舗などを含むコミュニティスペースとしての利活用を期待している。

澤 公営住宅の老朽化が見られる。

公営住宅への利活用はできないか。

町長 現在の紹介物件は、耐震性を築年数だけで判断せざるを得ず、公営住宅としては難しい。

澤 浦富に海を感じるおためし住宅がある。山間部にもおためし住宅を設置しないか。

町長 浦富を拠点に山間部も案内し、移住の実績もあり、現在の施設で対応できている。

澤 空き家の老朽化が進むと、条例により除去や修繕など適切な措置が必



澤 治樹議員

澤 前回の空き家調査から4年が経過し、居住不可能な空き家が増加していないか、最新の空き家調査を実施しないか。

町長 岩美町空き家対策計画を見直す際の現況確認、紹介物件の更なる確保のため、3年度に実施したい。

澤 増加する空き家を定住促進のほか、地域コミュニティの活性化に利活用しないか。

町長 移住希望者の住居としてだけでなく、今年度設けた空き家活用促進補助金などを利用いた

要な特定空き家に判定されるが、特定空き家は何かあるか。

村島総務課長 6件ある。

澤 特定空き家への条例に基づく助言、指導、勧告などの対応状況は。

町長 3件は撤去意思を確認済みで、撤去に向けて協議中。2件は相続調査中。1件は相続放棄されているため、地元と協議して今後の措置を判断したい。

調査や協議が完了次第、次のステップへ進めたい。



空き家の老朽化が進むと特定空き家に認定される

澤 空き家バンクを利用した移住者数は。

大西企画財政課長

過去3年間で、27件、52人が移住している。

町の鳥獣被害対策は

澤 治樹議員

狩猟期のイノシシ捕獲に町独自の奨励金

西垣町長

澤 増え続ける有害鳥獣被害に、どのような対策を立てているか。

町長 金網や電気柵の設置による侵入防止と、捕獲奨励金、新規狩猟免許の取得費助成、猟友会の支援などによる個体数の減少に取り組んでいる。

今年度は、狩猟期のイノシシ捕獲も町独自で奨励金を交付し、駆除強化する。

澤 28年度に策定した鳥獣被害防止計画の30年度までの被害軽減目標は達成できたか。

町長 イノシシ、シカによる被害額及び被害面積を3年間で半減させる目標であったが、個体数の増加により、いずれも達成できなかった。

澤 「いなばのジビエ推進協議会」で、獣肉の活用と解体処理施設の整備は、結論が出たのか。

町長 同協議会、鳥取県、東部1市4町で構成する東部地区解体処理施設等整備検討会で、27年から29年に協議したが、設置場所の問題や各市町の状況の違いから、最終的な結論が出ていない。

コロナの影響で夏休みの短縮は

橋本 恒議員

実質3日間短縮する

寺西教育長

教育長 使用の禁止ではなく、上手につき合えるよう指導する。

橋本 コロナの影響で子どもたちは、精神的に不安定になっていないか。

教育長 生活リズムの乱れなどが報告されているが、学校全体で対応している。

橋本 保護者も精神的に不安定な中、児童虐待が発生していないか。

教育長 虐待はない。

橋本 子どもや保護者とも、心のケアが必要だが、相談体制はどうか。

教育長 子ども、保護者とも、各学校で相談を受ける対応をしている。



橋本 恒議員

橋本 コロナの影響で、学習の直接的な遅れは。

教育長 昨年度末に2〜4日の遅れ。

今年度の直接的な遅れはない。

橋本 夏休みなどの短縮は検討されているか。

教育長 夏休みの開始を7月23日から7月30日に変更し、実質3日間短縮する。

橋本 電子メディアの、使用の指導方針見直しを。

小学校統廃合の検討を始めないか

橋本 恒議員

今の段階では考えていない

寺西教育長

橋本 島根県は少人数学級編成の定員数増の見直しを検討しているが、鳥取県及び本町ではどうか。

教育長 見直しは検討されていません。

橋本 県の学級編制基準及び島根県見直し案だと、本町の普通学級数はどうか。

教育長 北小が県基準で1学級減、島根県見直し案で2学級減になる。



臨時休校中の岩美中学校で行われた遠隔授業のモデル実験

橋本 南小開校以降、小学校の統廃合は検討されたか。

教育長 検討していない。

橋本 小学校の統廃合を、義務教育学校で仮定すると、岩美中に全小学生が入る余裕はあるか。

教育長 余裕はない。

橋本 町内1小学校としたとき、町内小学校の既存校舎に、教室の余裕はあるか。

教育長 余裕はない。

橋本 町内2小学校としたとき、既存校舎で可能か。

教育長 17教室必要で、西小・南小では難しい。

橋本 多額の学校整備費をかけない形で、1学年2学級以上を目指す小学校統廃合の検討を始めないか。

教育長 今の段階では、小学校統廃合を考えていない。

4年以降も成人式は20歳を対象に

橋本 恒議員

20歳を対象に実施

寺西教育長

橋本 民法改正で18歳が成年となる4年以降も、20歳での成人式を提案したいがどうか。

教育長 成人式という名称は変わるかもしれないが、20歳を対象に実施したい。

新型コロナウイルスの今後の防止対策は

森田洋子議員

マスク着用、手指の消毒、3密を避ける

西垣町長



森田洋子議員

森田 コロナ禍で、フレイル状態の方が増えていくと考える。令和2年4月より、フレイル健診(厚生労働省作成の質問票)が75歳以上対象に、新たに導入された。今の実施状況は。

森田 中国武漢から感染した新型コロナウイルスは、世界へと一気に感染拡大した。今後、感染防止のために「新しい生活様式」を取り入れた日常生活となる。社会経済活動が求められる中、本町としてどのような感染防止対策に取り組もうとしているか。

町長 感染防止として、マスクの着用、手指の消毒をする。3密を避けることに取り組む。

町長 屋外では、距離をとれば、マスクは必要ない。こまめな水分補給、定期的な換気、エアコンを使用してほしい。防災無線、ホームページ

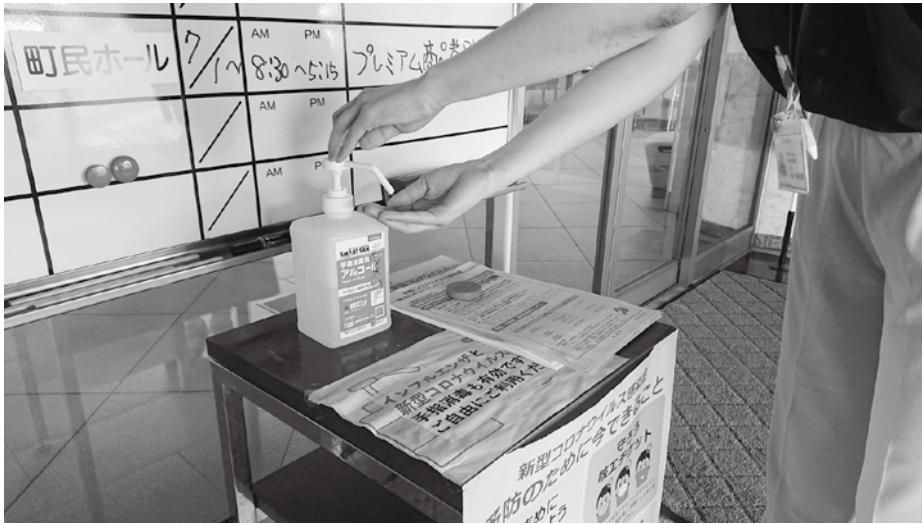
町長 フレイル健診の質問票を、検診の受診券と一緒に対象者に送っている。ぜひ受診をしてほしい。そしてデータを基に早期発見、対処を行いたい。

森田 コロナ禍でのマスク着用はかかせない。本町の熱中症予防対策は。

ジ、ケーブルで情報発信、注意喚起したい。

森田 お薬手帳は、コロナ禍の時に、正しい情報がすぐわかり、適切な治療ができると思う。岩美病院は配布しているか。

小谷病院事業管理者 平成27年度から令和元年度までの5年間で、350冊前後の配布だ。今後は、活用性をしっかり周知啓発し、積極的な配布を進める。



新型コロナウイルス感染防止のため、手指消毒液を設置 (役場玄関)

森田 日本列島は、本格的な梅雨、台風シーズンを迎える。3密を避けた避難所の運営はどう考えるか。

町長 避難所入口に、検温、消毒、発熱者の専用部屋を確保する。家族単位で仕切りをし、適度な換気を行なう。緊急場所として、社会体育施設、コミニティセンターの活用を考えたい。

バス路線による買い物便の増便を

森田洋子議員

今年度策定の地域公共交通計画で検討

西垣町長

森田 本庄地区の路線バスは走っていない。今後、一日一便の本庄大谷線の買い物便を走らせてほしいとの声を聞いている。空白地域の対応策は。

森田 バス停から遠い集落の買い物便として、集落内での小型乗用車を行き、路線バスにつなげる考えはないか。

町長 今年度策定の地域公共交通計画で、市民の意見を聞き、方法を検討したい。

町長 一人一人の移動に町が対応することは困難だ。集落内の移動は、集落にあった方法で、共助として考えてほしい。

オンライン授業に向けて取り組みを

吉田保雄議員

い 平時の授業での実践を重ねた

寺西教育長

器の納入時期は未定だ。

吉田 オンライン授業で、児童生徒がさらに先の授業内容に進むことはできないか。

教育長 オンライン授業には、双方向、一方向、オフラインなどさまざまな学習形態がある。

機器を使った学習も必要だと思うが、学校教育では、みんなで学習する集団での学びが基本にあると認識している。

吉田 非常勤の担当者も考え、全生徒対象のオンライン授業に向けて取り組んではどうか。

教育長 県教育委員会のICT教育担当職員の知恵を借りたい。

ICT機器はオンライン授業としても使えるが、平時の授業で使うのが基



吉田保雄議員

吉田 新型コロナウイルスの感染症爆発で休校・家庭待機が余儀なくされ、町内の小中学校でもオンライン授業が必要となっている。

出井教育委員会次長 児童生徒3人に1台のICT環境が整備済みだ。

吉田 オンライン授業用の端末は、本年、1人1台設置とのことだが、設置の見込みはどうか。

教育長 全国的な需要増、世界的感染拡大から、機

本だと考えている。その実践を重ねていきたい。ICT機器を使った学習は、これからの子どもたちには必要だと思う。



ICTを使った授業（岩美中学校）

ふるさと納税の返礼企画を

吉田保雄議員

関係機関や事業者の方と協力して取組む

西垣町長

吉田 町内の経済活動が沈静化しており、特に観光事業は大きな打撃を受けている。

地域の結束を一層強固なものとし、経済活動の活性化を図る必要がある。昨年度のふるさと納税の実績とその使用用途はどうか。

大西企画財政課長

昨年度の実績は569万2千円、件数は1836件。金額は9.7%増。浦富海岸の美化清掃元氣フェスティバル、山陰海岸ジオパークPR経費などに2731万5千円。特産品のPR、観光振興事業、中央公民館リニール記念事業などに2959万7千円を活用した。

吉田 一次・二次産業の活性化と観光事業関係などの支援のために、返礼品を積極的に企画すべきと考えるが。

町長 宿泊券などの新たな返礼品や複数の商品を組み合わせたものを観光協会や道の駅に対して開発依頼をした。

ふるさと納税を通じた町内産業の活性化を推進する。

快速便は補助路線から外すべき
杉村 宏議員

10月以降の運行は関係機関と協議
西垣町長



杉村 宏議員

杉村 岩井快速便として、鳥取駅から岩美駅間の高規格道路利用で、時間短縮した民間バス路線が、平成30年10月から運行している。

生活交通路線として必要なバス路線とされ、鳥取県の広域バス路線維持費補助金の対象となり、本町も昨年度213万円（内県は28万円）の負担を行っている（赤字額全体では686万円、残り473万円は鳥取市負担）。

町長 本町も鳥取市も要望していない。

かかったのか。
町長 改めておわびする。

杉村 1便当たり平均0.7人。その多くは岩美町民ではないようだ。

本年5月28日木曜日、岩美駅での乗降を確認した。乗降数は3名、1便当たり0.5人。月・金曜日は中央病院への利用

が多いようで、それ以外の曜日は、このような実態と推察する。

3名は、どなたも当町の方ではなかった。どう受けとめるか。

町長 町民の利用実態はつかめてない。



岩美駅で接続されている新温泉町民バスと快速便

杉村 運行継続は否定しない。

しかし、鳥取県民・岩美町民にとって、生活交通路線として必要なバス路線ではない。県の補助路線から外すべきだ。

町長 利用状況などにより、令和2年10月以降の運行は、事業者を含む関係機関で協議したい。

杉村 ゆめぐりエクスプレスバス、新温泉町民バス夢つばめとの接続で、兵庫側の移動の一部にこの快速便がなっている。鳥取県側の運行を、本町、鳥取市、鳥取県が負担している。

町民が納得いくものではない。

町政の見える化の推進を

杉村 宏議員

前進するよう取り組み

西垣町長

杉村 協働のまちづくり予算事業提案で、岩美まちづくりの会から2年続けて町政の見える化をご提案いただいた。

3度目のご提案をいただくほどのことではない程度に、町政の見える化を進めないか。

町長 おくればしたが、早急に検討し、前進するように取り組みたい。

その他の質問

コロナ財源は所得再配分

税条例改正の理由は

愛国心が育つ教科書採択を

升井祐子議員

教科書選択は非常に大切

寺西教育長



升井祐子議員

升井 今年は4年に一度の中学校教科書選択の年。岩美町の将来を担う子どもたちにとって、日本の歴史、文化、伝統に誇りを持ち、愛国心が育つような内容のものを選んでいただきたい。

どのような経緯で採択されるのか。

教育長 文部科学省が検定をした教科書を、東部地区教科用図書採択協議会で協議し、それに基づき岩美町教育委員会が教科書を選定する。

升井 戦後の自虐史観教育により、自分の国に自

信が持てない日本人が多いと聞く。

それについての考えを伺う。

教育長 教科書選択は非常に大切。

そのような主張があることは承知しているが、多い、少ないの認識は持っていない。

本町で採択している教科書は、自主的、自発的な学習を促せるものと思っている。

升井 先の、日本、韓国、中国、アメリカの青少年7000人に対して行われたアンケートでは、自分は価値がある、肯定的、ポジティブな人間だと答えた若者が、日本が一番低く10人に一人もいない。別の調査で、自国民としての誇りを持っているかでは60カ国中57番目、前後には植民地であった

国が並んでいる。自虐史観を教科書で扱った影響が大きかったのではないか。

教育長 全て自虐史観からではないと思うが、若者が自信をなくするのは良くない。

今年度から、キャリアパスポート事業といって自分の学習経験を将来に向かっどう生かしていくのかというような取り組みを県全体で始めようとしている。理解を賜りたい。



来年から使われる中学校教科書の候補を中央公民館に展示
(7月2日まで)

違法操業取締まり強化提言を

升井祐子議員

今後も積極的に働きかけたい

西垣町長

升井 日韓漁業協定が結ばれたにもかかわらず、韓国漁船が日本の排他的経済水域で、違法操業していることについての考えはどうか。

升井 韓国の違法操業による、本町への財政的な影響は。

町長 いくら減収になっているとかの数字は持ち合わせていない。

国に対し、韓国政府自ら、無秩序な操業の監視、取り締まり強化の指導を実施するよう要望している。

今後もあらゆる機会を捉え、国に働きかけたい。

町長 日韓漁業協定の内容が守られていないことは、大変重大な問題であると、危惧している。

その他の質問

漂着ごみからジオパークを守って

病床数削減はすべきでない

田中克美議員

断じてすべきでない

西垣町長



田中克美議員

小谷病院事業管理者

入院患者受け入れに必要な支援を求めたい。減収補てんもお願したい。

田中 「PCR検査に国がお金を投下しなかった」(日本医師会)、受診控えて病院経営は悪化している。

国の医療支援はどうか。

町長 岩美病院も感染者受け入れを準備したが、国の予算は少ない。今後要望したい。

岩美病院も減収しており支援を要望したい。

田中 国の予算には病院の減収補てんはない。第2波に備え必要な支援は何か。

町長 病院が成り立つ手当てをしてほしい。

田中 新型コロナ禍のいま、岩美病院の役割をどう考えるか、国に何を求めるか。

病院事業管理者 岩美病院の役割は今後も変わらない。

国には地域における存在意義を理解し支援してほしい。

教育課程を精選してはどうか

田中克美議員

「教科書で教える」をふまえて工夫を

寺西教育長

田中 新型コロナ禍のもと、子どもたちの心のケアが必要だ。子どもたちの状況をどう把握しているか。

田中 授業時間を取り戻すだけでは学びの保障にはならない。第2波を考えると、学校が必要な学びは何かを集団検討し、教育課程の精選が必要ではないか。

教育長 小学校では生活のリズムの乱れなどの報告がある。中学では、アンケート調査しながら把握に努めている。今後現実把握に努めていく。

教育長 教科の学習では、「教科書で教える」という原則をふまえながら、工夫していかなければならないと思う。

コロナ対策は複合災害など念頭に

田中克美議員

自然災害との複合災害は一番心配

西垣町長

田中 コロナ対策で国の制度の実施が遅い場合はつなぎの独自施策や、1回きりでない独自支援などに、臨時交付金を活用してはどうか。

田中 感染症と自然災害の複合災害による感染者の爆発的増加の可能性など念頭に対策が必要だ。

町長 実態に合わない部分の支援策や独自の上乗せ、給付金の追加もあっていいと思う。生活の維持や事業継続を基本に考えたい。

町長 まず、第2波、第3波を起こさない取り組みを訴えたい。複合災害は一番心配している。感染予防につながる手立てを考えたい。



コロナ禍でマスクをして通学する子どもたち



岩美中部活にエール



みんなでコロナを乗り越えよう!!

新型コロナの影響で、中学校最終学年生徒が部活動成果を発揮する大会が中止や縮小される中、どのように部活のモチベーションをあげているか聞きました。次号で、引き続き5つの部活を紹介します。(写真提供：岩美中学校)



野球部

主将 野澤 宏輝

ボールを打つこと、投げること、そして一つのプレーに一喜一憂できること。この時期に大好きな野球をみんなでできることです。



陸上部

主将 河口 裕貴

大会や部活が少なくなったのは残念だったけど、気持ちを切り替えて、自己新目指してがんばります。



男子ソフトテニス部

主将 田中 瑠依

僕達は東部地区総体で「勝つ」ことをモチベーションにして日々練習に励んでいます。最後となる試合をぜひ、楽しみたいと思います。



女子ソフトテニス部

主将 田中 裕香

私達は、明るく楽しい部活を目指しました。楽しむだけでなく、大会に向けて自分の苦手な部分のアドバイスをしあって頑張りました。



男子卓球部

主将 中野 良彦

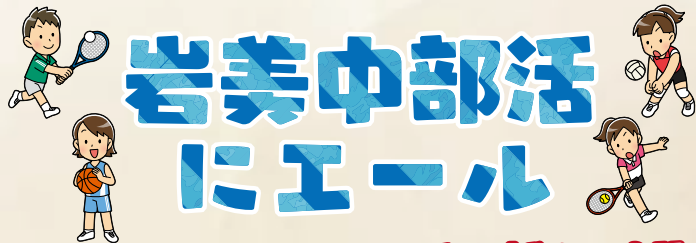
男子卓球部は、基礎体力を身につけることに重点を置き、お互いに励まし合いながら練習に臨みました。



女子卓球部

主将 小橋 花音

チーム内での声掛けや話し合いです。チーム内での志気をあげられるよう、常に心がけています。



岩美中部活 にエール

みんなでコロナを乗り越えよう!!

新型コロナの影響で、中学校最終学年生徒が部活動成果を発揮する大会が中止や縮小される中、どのように部活のモチベーションをあげているか聞きました。次号で、引き続き5つの部活を紹介します。

(写真提供：岩美中学校)



男子バレーボール部 主将 平井 倅

東部総体が開かれるだけでもうれしいことなので、優勝を目的として、日々の練習で完成度を高める努力をしています。



男子バスケットボール部 主将 河井 隼

練習や練習試合がうまくできず、モチベーションが下がっていました。ですが、声を出して、チームを盛り上げてきました。



羽球部 主将 竹本 唯菜

どんな状況でも、いつも通り一生懸命練習することを意識して、試合で自分の力を全て発揮できるようにがんばってきました。



女子バレーボール部 主将 田中 蘭

私たちは2か月間練習ができなかったことで、優勝するという強い思いとバレーができる幸せを感じながら日々努力しています。



女子バスケットボール部 主将 白矢 はな

私たちは、部活中での会話を大切にしました。休憩の時や練習中など、チームメイトとの会話を大切に取り組みました。

議会だより調査特別委員会委員

【発行責任者】

議長 足立 義明

委員長 田中 克美
副委員長 杉村 宏
委員 柳 正一
委員 宮本 純
委員 寺垣 智章
委員 吉田 保
委員 森田 洋
委員 升井 祐
委員 橋本 恒子

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大のなか、突然の休校などで子どもたち、先生活も家庭も、未経験の生活に直面しました。特に最終学年の子どもたちにとって、不安や悩みはいつも以上に大きいと思います。どんな気持ちでコロナ禍を乗り越えようとしてきたのか、岩美中の部活の生徒の声を聞きました。今号と次号で紹介いたします。生徒たちの前向きな思いに接することで、立場や年齢を超え、一体感をもってコロナ危機を乗り越える気持ちはもっていただければと思います。

田中克美